

平成19年第5回日野町議会定例会（2日目）

平成19年9月14日 午前10時 開議

一般質問通告表

通告順	氏 名	質 問 事 項
1	松本 利秋	1. 和牛（農業）振興について 「和牛再発見・地域で築こう和牛の未来」をテーマに、10月11日から14日まで本県で第9回全国和牛能力共進会が開催されます。これに先立ち県代表牛を決める予選会には、少数飼育の日野町から5飼育農家（10頭）が出品。3回もの予選を勝抜いて2飼育農家（3頭）が全共へのキップを手にした。 おめでたいことであり、この上は、本人の栄光と本町・日野和牛の名誉にかけて優秀な成績を挙げられることを期待します。 そこで、全国和牛能力共進会を契機として、和牛の良さを見直し、日野町の和牛王国復活で特色あるまちづくりはできないか。 1) 全国和牛能力共進会開催期間中の取り組みについて ①和牛生産農家及び一般町民、子どもへの取り組み ②日野町の特産物等のPR 2) 全国和牛能力共進会を契機として、和牛の良さを見直し、農業振興が図れないか。 ① 和牛生産農家の組織強化と指導者育成 ② 和牛飼育農家への支援 ③ 後継者対策 ④ 和牛導入は、雇用対策、農地の荒廃防止及び間接的には堆肥生産による水稻の増産が図られ、所得の向上につながると思われるが、町の振興策はどうか。 3) 日野町の和牛王国復活（日野和牛ブランド化）で特色あるまちづくりはできないか。

2	松原 直人	1. リバーサイドひのの運営について 指定管理者（有）フレッシュひのの昨年の決算書を見ると、単年度赤字が約119万円（累積赤字が約241万円）となっている。 ① 町長として、今後の運営をどのように考えておられるのか。 ②費用対効果はどのように考えておられるのか。 2. 行財政について 1) 平成19年度一般会計予算は「骨と皮にカンナをかけた」予算と表現されている。町の職員も84人が、63人と自立推進大綱の目標をほぼ達成した。 ①職員数は何人が適正と思われるのか。 ②年齢的にバランスのとれた採用が大切だと思うが、どうか。 2) 特別会計の簡易水道、公共下水道事業、農業集落排水事業における、一般会計からの繰出金は、この特別会計事業の借入金(公債費)の返済がほとんどのようです。 平成19年度予算では三事業の償還金（公債費）は、町債償還金元金として、1億9,081万円町債償還金利子として、6,012万円一時借入金借利子として105万円合計2億5,198万円が計上されています。 （参考）一般会計での 平成16年度末公債費残 約 59億円 平成18年度末公債費残 約 52億円 ①特別会計三事業の地方債の残高の内訳は。 3. 鳥取県西部地震の住宅補修支援について 家屋の修繕資金150万円について、県が三分の一地元町村が三分の一、残りの三分の一は本人負担と県はスキームを決められていた。 本人負担分を町が負担され町民は大変助かりました。 平成17年10月の、町が行革説明会の時に、支援金の一部でも返したいとの住民の言葉がありました。 地元住民からも今、町は寄付を受け入れても良いのではないかと声があります。 ①町は気持ちをくみとり寄付を受けられても良いのではないかと思います。いかがでしょうか。
---	-------	--

3	中原 明	1. 西部広域消防圏連合演習実施について 町の災害に強い町づくり安全安心の防災目標町づくりの目標は、行政と地域住民が密着して住民の自発的参加協力が必要であるが、この機会に防災に強い町づくりに活かすべきではなかったか。 地域住民は、これが本番だったらどうしたらいいだろうかと訓練を見ながら不安な気持ちをのべられておられた。 ①町として防災計画を立て、西部広域消防連合と町、自主防災組織と連携して、行動すべきではなかったか。 ②黒坂自主防災組織の協力要請に否定的立場は何故か。 ③後方支援は必要でなかったか。 ④避難誘導 ㊤炊き出し、給水 ㊦救出、救護 ㊧情報収集、伝達 ④訓練による成果と、問題点の改善等の報告を受けられたか。 ㊤出火点への水利、放水開始時間 ㊦第二火点の水利、放水開始時間 ㊧水利の状況は ㊨黒坂町部には防火水槽が1区1ヶ所、小学校プール、5区1ヶ所、7区4ヶ所しかないが、黒坂駅前付近は水利が非常に悪いが指摘は無かったか ⑤その結果を防災にどう活かされるか。 ⑥情報公開による黒坂自主防災委員会と、連絡協議を行われましたか。 ⑦防火水槽が黒坂地区全体で8ヶ所しかないが火災発生時の水利の確保はどうするのか。 ⑧町長の防災認識と、危機管理へのリーダーとして哲学、姿勢が甘いのではないか。
---	------	--

4	佐々木周子	1. 子育て支援対策について 子育て支援対策の充実が、「安心して、こどもを産み育てる」支えとなり、少子化対策につながると考える。 子育て支援対策については、多面的な取り組みが不可欠と考えるが、本町の取り組みは具体的に示されていない。 ひのっこ保育所に併設の「おひさまひろば」だけで良いと思っているのか。 平成13年12月に「日野町児童育成計画」、平成17年3月に「次世代育成支援行動計画」はできているがこれに伴う、実施計画はできているのか。 どんなに立派な計画を策定しても、実行しなければ、絵に描いた餅に終わり、町民のための事業が出来ないのではないか。 ①子育て支援は、ひのっこ保育所に併設の子育て支援室「おひさまひろば」だけで良いと思っているのか。 ②日野町児童育成計画・次世代育成支援行動計画について、国・県の方向性なり、計画を参考にしながら、本町に即した実施計画を策定する考えはないか。 ③「子育て支援」は、0歳から18歳までである。健康福祉課と教育委員会との連携は図られているのか。 ④子育て支援対策を円滑に進めていくために、「子育て支援係」を作ってはと思うが、その考えはないか。
---	-------	--

5	佐々木 求	1. 固定資産税について これまで、同和減免に対する改善を求めてきたが、西部町村会で見直しを検討され、5年間で段階的に解消していくことを打ち出された。 解消に向けた動きとしては歓迎する。 ① この間の西部町村会の議論と、町の果たした役割を財政再建との関わりで、どう考え、取組まれてきたか。 ②なぜ、「5年間」「段階的」なのか。 ③住民との合意形成の状況はどうか。 2. 滞納金について 災害援護資金について、毎年多額の滞納となっているが、その流れはこれまで注意を喚起した通りになっている。 ①この滞納状況の要因をどう見ているか。 ②議会の指摘を受けて、その後どう対応してきたのか、又、どういう手立てを講ずるのか。
---	-------	--

6	竹永 明文	1. 情報公開について 1) 財政再建を目指す本町において、情報公開が必要であると思う。 ①具体的にどのような方法で情報公開を進めていくのか。 2) ケーブルテレビによる情報について ①ケーブルテレビの必要性についての考え方を問う。 ②導入する場合、どういう方法が一番いいのか。 ③その後の、事業経費等も含めた検討内容は。 ④県の指導は。 ⑤江府町との協議はどこまで進んでいるのか。 3) 地上デジタル放送移行についての対策について ①本町として、どの程度影響が出てくるのか。 ②共同受信施設を整備されて放送を視聴されている地区の影響は。 ③国やNHK、民放等の動向は。 ④不受信地区が出ないようNHKと協議した内容は。
---	-------	--